
君を守るために生きていく

Laura

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君を守るために生きていく

【Nコード】

N1373Z

【作者名】

Laura

【あらすじ】

世に珍しい紅い瞳と蒼いペンダントを持ち合わせている双子。

双子の姉は、色んな人に狙われている時に妹と喧嘩して離ればなれになってしまった。

その時、世界を侵略しようとしている者に襲われ、ペンダントの力と自分の持ち合わせていた能力を使い、生きताまま自ら氷漬けに！

その姉を救う為、今世界を危機に陥れようとしている者を倒す為
に、妹やとある少年が立ちあがる！

作者の都合により更新が遅く、誤字・脱字も多いでしょうが、よ
ろしく願います

あらすじ／登場人物

世界には、不思議な力を持ったモノがいる。

それは、人を不幸にする力でありながら人を幸せにする力。

つまり、使い人次第で変わるのだ。

その力を使い、世界を侵略しようとしている者がいる。

それを防ぐため。そして、そのモノのせいで氷漬けにされた白鳥

財閥の双子の姉、白鳥麗を助けるため、青年、西園寺レントと、双

子の妹、白鳥瑠亜等が今、戦いに挑む！！

登場人物

- ・西園寺レント この物語の主人公。
- ・白鳥瑠亜 白鳥財閥の双子の妹。ヒロイン
- ・樋浦巧 白鳥財閥に仕える執事。
- ・白鳥麗 白鳥財閥の双子の姉。
- ・三神宗司 双子の特別な力について研究している。
- ・睦月呉羽 桜宮学園の生徒。とにかく元気。
- ・結木羅那 桜宮学園の生徒。
- ・久住未来 桜宮学園の生徒。

・SST（植物型生命体） 世界を侵略しようとしている者が作り出した生命体。

第1話 『青年と少女』

季節は冬。

空からは雪がちらちらと降ってくる。

一人の青年は朝早くの雪の中、海辺の海岸にいた。茶色の髪をした彼は、ネクタイを緩く結んでおり、シャツのボタンを少し開けている。その少年の名は、西園寺^{さいおんじ}レント。

「はあ………」

一つため息をつき、海に視線を送る。そして、近くにあった石を投げ、その場を去った。

*

その後レントが向かったのは、レントが通っている、波坂^{なみさか}学園。レントはその学園の高等部2年。そして、彼は学園の皆から避けられているのだ。

レントが中等部3年の時。彼は波坂公園で喧嘩をし、数名怪我を負わせた。という事件があった。それから、レントと話したりしたら殺される。何かに巻き込まれる。などと言った噂がたち、皆避けているのだ。

階段をのぼり、自教室へと向かうレント。その間も、学園の皆からヒソヒソと言われており、非常にイライラしてくる。

「西園寺レントさん……ですよね？」

ふと、自教室の前に見た事もない少女と、一人の青年が立っていた。少女は金髪の髪をツインテールに結び、きつちりと制服を着て

いる。そして、青年は波坂学園の制服をきっちり来て、メガネをかけており、頭はとてもよさそうで、見た目はもう高校生ではないんじゃないかと思うくらいの上っぴきとした感じだ。

「そうだけど……君たち誰？」

「はじめまして。白鳥財閥の白鳥瑠亜と申します。そして、此方が……」

「白鳥家の執事、樋浦巧と申します」

丁寧に挨拶をし、瑠亜は一礼をする。そして、真剣な目でレントを見た。

「レントさん。お願いがあります」

いきなり言われたものだから、レントは目を点とさせる。

「は？いきなり何……？」

一言言った瞬間、予鈴が学校に鳴り響く。

「ヤベッ」と言いながら教室に入り、最後に瑠亜の方を向き言う。

「その話、後で詳しくお願いします。白鳥さん」

そして、お互いその場を後にした。

第2話 『』

レントが教室の中へ入ったとたん、賑やかだった教室が静まり返った。だがレントは気にしたようなそぶりは見せずに自分の席に着く。

「西園寺くん、おはよ」

ふと声をかけられたレントは、声のした方を向く。向いた先に居たのは、睦月呉羽^{むつきくれは}。レントに対しても普通に声をかけられる、学園内では勇者と呼ばれている少女。

呉羽は、誰に対しても元気な性格を見せており、別に友達がいないわけでもない。なのに何故レントに声をかけるのだろうか。その呉羽の周りには、結木羅那^{ゆいきらな}と久住未来^{くすみみらい}が嫌そうに立っている。

レントは「おはよ」と仏頂面で言う。

「ちよつと呉羽、何考えてんの？」

「西園寺くんに声をかけるとかホント訳分かんない」

羅那と未来は、呉羽に言いよる。

「だって、同じクラスだしさ、私は西園寺くんと仲良くなりたいたいもん」

呉羽は笑顔で二人に言う。そして、「またね、西園寺君」と言い自分の席へと戻っていった。

それからしばらくして、先生が入ってきた。基本先生の話の聞かないレントは、窓側の席の為、窓の外をずっと眺めていた。だが、

転入性が入ってくる。そう聞いた瞬間、レントは前を向く。

ガラガラと教室の扉が開き入ってきたのは、朝であった白鳥瑠亜しびとじるあと、その執事の樋浦巧ひつぽうたくだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1373z/>

君を守るために生きていく

2011年12月10日10時46分発行